様式２

番号 ＼ 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	46・帝国	第１・２・３学年	地図・724	中学校社会科地図
取扱内容（学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等）	○　世界全図について 　地図と地球儀では大陸の形や大きさが異なることを調べたり、日本と世界の国々との時差を調べたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　世界州別地図について 　アフリカ大陸の国境線の特色を読み取ったり、ヨーロッパの位置を同緯度・同縮尺の日本と比較したりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　世界主要地域詳細図について 　ライン川とドナウ川を通過する国やアメリカ合衆国の州境の特色を調べたり、モスクワから各都市への距離や時間から国土の広さを読み取ったりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　世界の資料図について 　東アジア大陸と日本の間にある古代からの結び付きを調べたり、農作物の生産地域と伝統料理の関連を考えたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　日本全図について 　我が国の東西南北端や北方領土・竹島・尖閣諸島の位置を調べたり、我が国の領土や排他的経済水域の範囲を読み取ったりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　日本地域別詳細図について 　高速交通網の整備と他地域との結び付きを調べたり、地形の特徴から発達した産業の違いを読み取ったりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　日本の資料図について 　農業や工業の分布の特色を読み取ったり、日本の地震と火山の分布から、様々な災害とその対策について調べたりする活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。 ○　知識・技能の習得、活用、探究への対応 　巻頭の地図帳の使い方の特集ページにおいて、オセアニア州の資料図とグラフを関連付けてオーストラリアの自然や産業の特色を考えたり、北陸３県の特色を自然や人口、産業などの複数の考察の視点からとらえ、白地図を活用してまとめたりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられている。			
内容の構成・排列、分量等	○　内容の構成・排列 　世界の諸地域において、基本図により諸地域を大観する学習の後に、各地域の自然や農業等に関する資料図や環境問題や日本との結び付きを示した資料図を、考察する主題や生徒の興味・関心に応じて選択できるよう構成したり、日本の諸地域において、基本図により諸地域を大観する学習の後に、各地域の自然や産業の様子などを示した資料図を、考察する視点に応じて選択できるよう構成したりするなど、系統的、発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○　内容の分量 　「世界の諸地域」は 59 ページ、「日本の諸地域」は 66 ページ、「統計・資料等」は 47 ページであり、総ページは 176 ページで、前回より約 7%増となっている。			
使用上の配慮等	○　自分の住む市町村の様子を詳しく調べることができるよう、北海道の南部及び北部の地域別詳細図や札幌市中心部の資料図を掲載したり、北海道についての興味・関心を高めることができるよう、釧路湿原や開拓の歴史とアイヌ語に由来する地名の資料図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○　地図を活用して調べる方法や学習課題を「やってみよう」の囲みで示したり、地域の地理的事象を読み取るための着眼点を「地図をみる目」の囲みで示したりするなど、生徒が主体的に学習に取り組めるような工夫がなされている。 ○　巻末に日本と世界の資料図や 196 か国及び 47 都道府県の統計をまとめて掲載するとともに、歴史的分野や公民的分野でも活用できるよう、主な歴史地名・事項や国際機関への参加国を地図上に示したり、全ての生徒が学習しやすいよう、地名に全て振り仮名を付したりするなど、使用上の便宜が図られている。			
その他	○　北海道と関連のある内容は、道内の市町村等の図が 43 点、アイヌの人たちの歴史や文化等の図が 5 点取り上げられており、上川に関する内容は、日本の気象記録として旭川が取り上げられている。 ○　地図中の文字に、国語で学習する「とめ」、「はね」、「はらい」などが正しい字形となる書体を用い、国語で学習する字体と食い違いがないよう配慮されている。 ○　3 年間の使用に耐えられるよう、ノド部分を糸かがりした上で糊付けするなど、丈夫に製本されている。			